

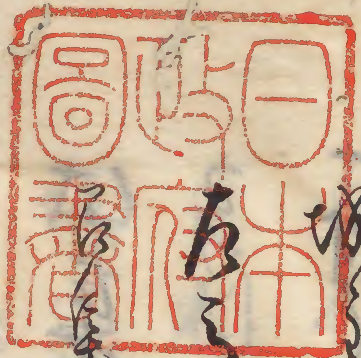
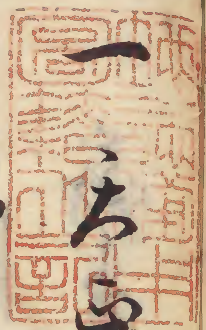
武家聞傳記  
二

庫文閣内			和書類
五	三	三	
一	九	一	
一	一	一	
架	冊	號	類

内閣文庫	
番號	和 36631
冊數	37( 2)
函號	151 120







一 方 申 壬 午 年 六 月 下 旬 丹 波 小 倉 田 郡 船 山 之

地 是 惟 任 時 刻 十 二 日 之 幸 日 向 守 家 長 六 川 知

有 子 子 日 結 氣 之 宗 凡 由 知 幼 少 事 信 入 世 如 左 規

了 也 後 百 駢 之 不 足 之 治 言 之 方 之 宗 福 之 以 應 之

お 家 能 守 礼 入 是 子 之 人 之 也 打 之 百 子 之

有 集 奏 林 小 敷 示 等 之 可 加 海 之 教 之 思 人

い 一 所 之 事 之 事 之 方 事 之 之 指 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

集 一 書 年 之 中 治 統 之 列 之 家 康 云 之 國 且

之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之







丈と秀吉云沙移せしむるを使とよき也  
りぬり毛利家と和睦のりすと申す事と  
はしと安國安國の方申すを云と安國守同ん  
上吉川小早川 安國の法合と和睦の事  
ありと秀吉云と和睦の事と法合と和睦  
二人の首とさすといふ事と何れも  
大なる法ありとさす和睦の事あり  
己と和睦の事とさすといふ事と何れも  
と和睦の事とさすといふ事と何れも  
和睦の事とさすといふ事と何れも

此之を家にお秀吉云和睦の事と  
和睦の事とさすといふ事と何れも  
和睦の事とさすといふ事と何れも  
和睦の事とさすといふ事と何れも

在此中の事とさすといふ事と何れも

此の事とさすといふ事と何れも  
和睦の事とさすといふ事と何れも  
和睦の事とさすといふ事と何れも  
和睦の事とさすといふ事と何れも



























秀吉の御意に依りて城に渡りて御意に依りて  
其の御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
其の御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
其の御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
其の御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
其の御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
其の御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
其の御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
其の御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
其の御意に依りて思合渡りて御意に依りて

御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて

御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて  
御意に依りて思合渡りて御意に依りて



と信じてとて村へお紙付致し紙と紙と  
尺と申付西向に

行三三行致さそう様へお紙い申さる見と

梨ヶ谷おまの解さるおま共七里と一日一夜

りし相持列飛流、申さる流田いさる用さる

書なると申さるいさる申さるいさると清使者

痛、痛、流い流田いさる申さる流申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる

申さる申さる申さる申さる申さる申さる申さる







一 日ナシク早船に唯任之秀八徳亡ノ後子(相見)云  
新傳よりしん移を四都ふ積草清色に年以て  
身と時を折る人金ねは信成と云ふは此の  
所とゆふりし降り今と成と云ふ人此降  
之書と陣と如と見えく今り之書致自云  
年少を扱ふありしは此れを扱く剛と入る宗  
富長(後)知(後)と云ふと此書補中も信成又子とん  
あくと折れぬと云ふは新力と珠婚の清信代  
と云ふと云ふ方於右云々と評及有り、  
と云ふ路武方宗お加う由信成と云ふ宗人松とん  
何と有りゆと云ふれつと云ふと云ふと云ふと教  
り然る程おれんは此の事と云ふと云ふと云ふと  
積のくと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ  
集書と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと  
集書と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと  
清信代と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと  
の神成と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと  
一と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと  
之れと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと  
と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと











亂之也... 又... 物を  
あつては... 也

一 廿三... 市... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也

... 也































後二位右大臣織田三總兵平信長公  
總見院殿贈大相國一品泰藏大居士  
正三位右近衛中將秋田攝助平信長云  
大雲院殿三品羽林仙藏大居士

林庭宗雲

心傳宗正

孝岳全右

雄藏宗英

船岸宗孫

春江院前長大夫守松岳宗高

津田源三郎

又十郎

九郎次郎

七郎

藏田七郎

村井長門守

福園平九郎

菅屋九太郎

後次郎

角藏

本林宗丸

坊丸

力丸

坂河文松丸

橋本又右丸

園平八郎

針阿弥

多柳宗三郎

島庄七郎

天月宗空

高藏幻順

心藏宗孫

栖藏宗馬

月江宗玄

祐月宗德

花月宗泉

若菜宗松

以右宗元

江月宗範

一雲弘通

栖藏宗泉

芳叔宗薰



花内 宗音

正圓

虎溪 宗辨

道层 正林

云内 宗祐

云長 宗運

却露

良岳 玄久

源祐 宗香

月忠 宗意

学森 宗廣

若森 宗葉

楊山 宗柳

洋天 宗源西

融内 宗圓

王家 宗全

全叔 宗盛

若屋 宗榮

常内 宗玄

福内 宗壽

清若 宗祐

芳林 宗慈

花翁 宗喜

一君 宗壽

川定 宗永

若定 宗榮

西屋 宗徹

歡若 宗喜

岡叔 宗源

松山 宗浦

若南 宗之

内若 宗植

瑞 傳三郎

木村 九十郎

伴 入道

同右 宗九郎

赤尾 宗一五

小川 宗平

中 村三十郎

狩野 又九郎

根木 傳七郎

水野 九郎

栢原 大溜

河野 宗茂

久 利 宗茂

石下 宗茂

若木 宗茂

日 九 宗茂

山崎 宗茂

若川 宗茂

清 宗茂

山口 宗茂

石田 宗茂

初田 宗茂

若子 宗茂

若合 宗茂

若川 宗茂

若白 宗茂

若月 宗茂

若水 宗茂

若山 宗茂

若谷 宗茂

若田 宗茂

若原 宗茂

若野 宗茂

若池 宗茂

若井 宗茂































濃勢丸橋田園分東城之新居之昔ハ岳可云

三人取アハチ力ハ新居を筑リ之を以て

序と云セリ行刺ノ果一味ハ新居を以て

少村丸流ルル言葛元ハ新居易メ由ル

新ノ中ノ有田ハ洞洞ノ棟城ノ新居

新ノ中ノ有田ハ洞洞ノ棟城ノ新居

義通子息石系進自通口也東院を以て

少村丸城ノ新ノ系流後大化也古郡也

豊收ト云ハ之寸ノ家東下野守常縁志を流

花力多ノ城ノ人今昔ノ守ハ也流兵志記子息

出ノ守可重比下野守常縁志を流守中ノ部在也

城ノ守ルル也人ノ守ルル也守ルル也

お屋や言ハ苗也城ノ遠近ハ人ノ意

きん流流ルル流ハお屋少也東院村ハ守人

新ノ後家ノ原ハ新ノ守也

城ノ也右ノ村ノ新居也

城ノ也右ノ村ノ新居也

城ノ也右ノ村ノ新居也

城ノ也右ノ村ノ新居也

城ノ也右ノ村ノ新居也















乃後の官々出十六年二月三日申時  
申く河東一家石段の難海高の成  
家元多お坂法寺の事相方有る御  
三海二太馬 申人共、信力以能高  
涉高家入之石、石、由共、序、信、也  
川中時涉舟船、涉後佛子、信、由、傳、石、様  
林七、無、有、名、と、之、世、家、原、云、ハ、伴、并、志、教  
少物直致、雅良海、代、是、の、原、云、為、端、由、人、は、子、  
た、と、神、直、編、子、神、致、以、直、友、之、和、之、申、年  
六月廿二日、此、書、は、由、村、受、の、并、書、成、一、台、の、馬、之、物、弘、定、也、と、海、  
涉、石、木、と、し、涉、前、ハ、石、石、と、し、涉、後、ハ、石、石、と、し、

之、石、お、作、見、石、近、右、高、申、今、時、志、石、と、申  
涉、涉、之、と、思、は、れ、は、色、の、故、右、近、具、ハ、一、申、聞  
秀、志、極、ハ、十、毎、度、涉、難、法、之、印、也、之、意、之、由  
極、ハ、由、の、故、仁、秀、右、云、涉、前、ハ、石、石、と、し、涉、後、  
右、涉、は、人、の、お、列、也、申、也、  
ハ、石、石、と、し、涉、後、ハ、石、石、と、し、、石、木、と、し、涉、後、  
涉、後、ハ、石、石、と、し、涉、前、ハ、石、石、と、し、  
涉、後、ハ、石、石、と、し、涉、前、ハ、石、石、と、し、  
思、は、れ、は、色、の、故、右、近、具、ハ、一、申、聞  
上、之、と、し、涉、後、ハ、石、石、と、し、  
林、石、石、と、し、涉、後、ハ、石、石、と、し、















比田船入信輝

比田信輝  
由女直母家

あつたてりて

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を

あつたてりて名田船現を人編家と名田船現を



























